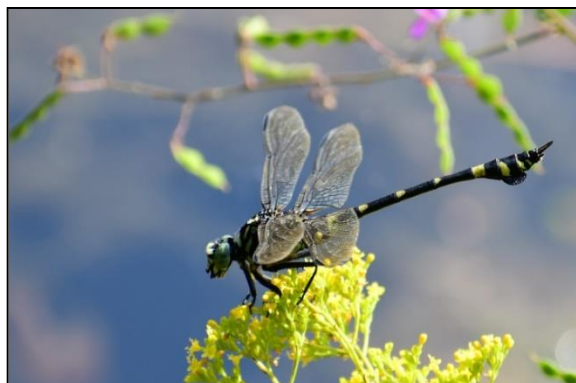




ギンヤンマ (ヤンマ科)

大型のトンボで、上池や下池の上を高速で飛び回っており、写すのはなかなか大変です。



台湾ウチワヤンマ (サナエトンボ科)

下池のオミナエシにとまっています。周囲を飛び回り、また戻ってきます。



ヒレタゴボウ (アカバナ科)

一年生草本の帰化植物で、黄色い花を咲かせます。本来湿地の植物ですが、三木山ではどんぐり谷や、れんらく道にたまに現れます。

みどころ

令和4年9月下旬

Mikiyama

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

三木山森林公園 検索

カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています



タコノアシ (タコノアシ科)

タコノアシ科の多年草で、現在開花中の花が蛸の足の吸盤に似ており、晩秋には紅葉してゆで蛸のようになります。



ツルアリドオシの実 (アカネ科)

花は「令和4年6月上旬のみどころ」で紹介しましたが、赤い実ができており、実には2か所花のあとが見られます。



ヤマガラ (シジュウカラ科)

落葉樹に葉があるうちは、なかなか目立ちませんが、エゴノキやスタジイの種子を食べに来ています。



ネムノキの葉をつつくエナガ (エナガ科)

エナガの群れがネムノキの枝に止まり、枝を揺らしながら葉をつついていました。



ツリガネニンジン (キキョウ科)

花が釣鐘に似た形をしており、三木山では日当たりの良いチガヤ草原に生育しています。



ツククサ (ツククサ科)

いたるところに生える一年草ですが、拡大して見ると青色の花弁、黄色い雄蕊などカラフルで美しい花です。



タヌキマメ (マメ科)

花や実の様子がタヌキに似ている可愛いイメージの花です。

センニンソウ (キンポウゲ科)



センニンソウとボタンツルは同じ時期によく似た花を咲かせますが、写真のとおり葉の形が異なります。また、センニンソウの実には白い毛があります。

ボタンツル (キンポウゲ科)



シロヤマブキの実 (バラ科)

「令和4年7月上旬のみどころ」に熟しつつある実を掲載しましたが、9月に入り実が黒く熟しました。



ヤブラン (キジカクシ科)

キジカクシ科の多年草で、ラン(蘭)ではありません。現在満開です。花が終わると黒くて丸い種子ができます。